

雜 錄

● 高温度と諸材料の強力との關係

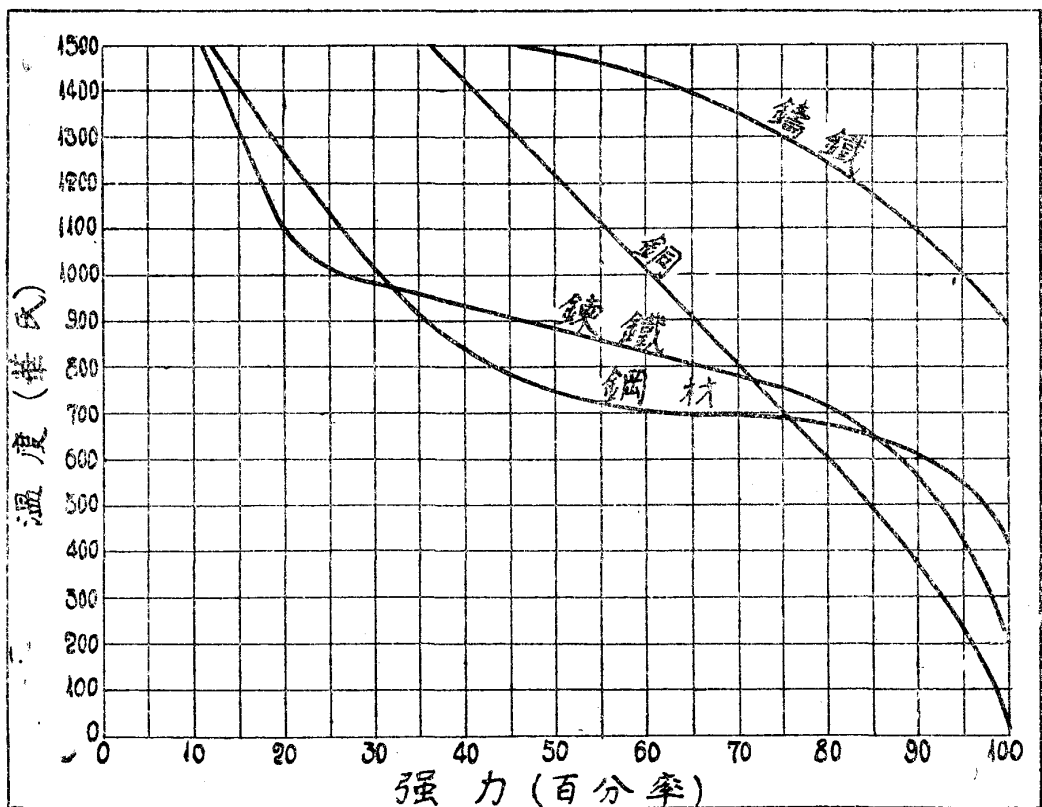
YOUNG 生

次に掲げし記事は雜誌 Machinery; Vol. 23, No. 7 に掲載せられしものを摘録せるなり。

諸般の工業が輓近著しき進歩發達をするに従ひて、諸機械を設計する人々の間に次第に囂しき問題となるに至れるは壓力と高温度の熱とに耐ゆる可き裝置の設計なり。斯かる裝置は其の種類甚だ多く手近の一二の例を舉ぐればレトルトを始め、蒸餾竝ひに乾餾裝置等にして其の他にも多々あり。而して壓力と高温度とに耐ゆるか如き裝置を設計せんとすれば先づ相當に種々の點に就て熟慮を要し、又指針たるべき事柄少く、實驗の結果等殆んど得られず。此れに反し動力或は運動に關する方面より機械を研究することは今日迄に相當に行はれ、且色々な重要な結果を齎されたるか如し、此に反し製造工業用機械、乃至は實際運轉狀態に於ける場合を考へて機械を設計せんとする時は先づ種々創作的設計をせざる可らず。

一般に材料の強力は温度の高低によりて差異あるものにして、吾々は先づ此の關係を充分に研究調査し、此れを設計上に應用すること肝要なり。今日迄に諸大家が行へる實

驗は多くは常温に於て力を加へたる場合の強力を研究せるものなれば斯かる用途の機械を設計する場合には聊か信頼



し得ざる點を生すへし。

高壓の加熱蒸氣の使用、化學藥品に壓縮を加へ或は高温

度に熱する作業を行ふ染色工業、或は物質を高温度に熱し溶解せしむるか如き電氣化學工業等にては設計上用ゆる所謂安全率は低きに過くる事あり。今便宜の爲温度によりて如何に材料の強力に變化あるかを線圖を用ひて示さん。此の線圖は斯界の大家か實驗せる結果を總合せるものにして、此れによれば鑄物は熱せらるゝ場合他の材料に比して最も良好なる成績を示し、寧ろ華氏九百度迄は強力を増す傾向を有し、温度か其れ以上となれば次第に強力を減して溶解點に至る。今日石油機關の燒玉は殆んど鑄鐵製にして、且良好なる結果を示すは此の現象によりて容易に知り得るなり。今日低壓石油機關と稱せらるゝ最大壓力六十封度内外の機關にて運轉中燒玉は常に小豆色位に保たれ、温度は正に千八百度前後なる状態にあるものなるか、斯かる場合の許容内力は常溫時の強力を基とすれば安全率を平均三或は四に取り、稀には二と云ふ驚く可き値を取ることにさへあり（今日吾國にて盛に製作せらるゝセミ、デイズル式石油機關は前記のものより壓縮壓力遙に高く大略二倍にも達するものなるか、此の機關の燒玉も殆んど鑄鐵なり、而して普通問題となるは強力に關してには非ずして等質の製品を得んことに在るか如し）。

鋼材は華氏四百度迄は強力極僅か乍ら増加す。それ以上八百度迄は急激に強力の減少を示し、八百度にては實に常溫の場合の四割の強力あるに過ぎざるに至り、それ以上溶

解點の二千度迄は強力の減退する割合略均等なり。

鍊鐵にては鋼材より低き温度にて強力減し始め、次第次第と減すること鑄鐵鋼と異ならず、然れども六百度以上の温度にては鋼に比し強力の減少率少し。

銅は温度の上昇につれ、最初より強力を減す、而して其の減少率は溶解點に至る迄略等しき特性あり。

此等の事柄は夫々特殊の状態に應じて適用されるものにして、時によりては鑄造法によりて良結果を得ざる場合等ありて斯かる場合には他の材料を用ふるを餘儀無くせしめらるゝことあり。一方鍊鐵や鋼材は高温度にては酸化し易き性質あれば、アルミニウム或は鉛の如き比較的酸化し難き金屬を用ひて此れを防止するを得。

銅は高温度に熱せらるゝとも比較的酸化せざる爲特殊の用途の器具には殆んど此れを用ふるは當然の理なり。然れども銅と錫或は亜鉛との合金は耐熱體に使用する可らざるなり。如何となれば錫或は亜鉛は高温度に逢へば多孔質の銅と分離せんとする傾あればなり。實地にたつさはる人々は何人も知る如く眞鍮は所謂『腐る』てふ現象を起す事は此れか證なり。

要之工業界にて今日大に研究すべき題目は高温の狀態に於ける諸材料の強力を充分細微に涉りて知る事と、高温度に熱せる場合に材料に起らんとする化學變化を防ぐ方法を考案するに在り。而して斯かる問題を研究するには是非種

々の實驗を行はざる可らされ共今日に於ける吾々の智識にては此れを大規模に行ふ裝置を設くること困難の事に屬するなり。

●梨樹河子鋼鐵公司計劃

吉林縣雙河鎮西南梨樹

河子(吉林省城を距る百八十支里地)に於て鑛區延長十數里に渉る鐵鑛を發見し其鑛質の佳良なる湖北大冶のそれにも匹敵すへきものにて民國三年吉林省城東局子師範學校地史教員は延吉縣警佐王澤普と計り鋼鐵公司を開辦し利源の開拓を計らんとせるも資本不足の爲め中止せるか最近に至り雙河鎮銅鑛經理某は此一大利源を空しく顧るものなきを概し資金の調達を圖り今回山主と協議の上合辦事業とし鋼鐵公司を設立するに決し既に着々其歩を進めつゝありと云ふ。

●模範製鐵所計劃

農商部にては中央模範製鐵工場

を設立するの計劃あり既に鑛政司長張軼歐に命し之れか計劃を立てしめたりと其大綱左の如し。

甲總廠

一、地 點 直隸省灤縣

二、豫 算 每日生鐵三百噸製出の豫定

三、鑛 石 海龍縣龐家堡及灤縣司家營鐵鑛廠のものを使用す

四、石炭及コークス 開灤炭山より採る

五、經 費 二百萬元

六、進行方法 三期に分け計畫進行

乙分廠

一、地 點 江蘇省浦口

二、豫 算 每日生鐵五百噸製出

三、鑛 石 江蘇省秩陵關鐵山

四、コークス 山東省峰縣產

五、經 費 三百萬元

南支那方面

湖 北 省

●濟華鐵鑛公司成立

大冶彭芝橋に於て有望なる鐵

鑛を發見し已に前農工總長張謇の手にて之れか調査を爲しつゝありしか此程に至り調査の結果愈々漢冶萍公司の大冶鐵山よりも有利なるものなることを確められたるより張謇は上海にありては孫文、孫壽潛、孫寶琦、谷鍾秀、沈仲和唐紹儀、吳鼎昌、曹亞伯、言敦源、陳錦濤等四十餘名の賛成を得て發起人となし大總統黎元洪、副總統馮國璋、國務總理段祺瑞の賛成をも得愈々濟華鐵鑛公司なるものを創設し同鐵鑛を採掘することゝなれり、而して同公司の資本金は六百萬元を醸集し之れを中國銀行に預入れ必要に應じ支出するとなすべく其他の四百萬元は一般支那人間に株金の募集をなし外國人よりは借款を仰かざる事となす由而して其鑛山附近には一大熔鑛爐を建設して銑鐵の製造をなし之れを販賣すべく同鐵山は張家湖を距ること僅かに四十五

支里の地にして揚子江に搬出するには張家湖を利用するの便ありて運搬交通甚だ困難ならず又熔鑛爐に要する石炭の如きは萍鄉炭と交渉してコークスを買入れる事となす可く又同鐵山附近の王家包にある石灰山をも已に四千七百萬元にて買収したれば之れを以て其要を満たすことを得へき見込あり、目下之れか計畫着々進行中にて何れ遠からず大冶附近に一大鐵鑛山を現出するに至るべく漢冶萍公司と相俟て南支那に於ける兩勇對峙の壯觀を呈すべしと。

●漢冶萍公司近況

▲五年度利益 元より歐洲戰亂の餘波を受けたるは疑なきも大正五年の作業成績は實に開辦以來嘗て見ざる好況にして營業上の利益は實に七百餘萬元の巨額に上れりと云ふ。

▲免稅 同公司に於ては鋼鐵の輸出移出稅に就き五ヶ年間免稅の處民國五年十二月三十日を以て滿期となれるを以て更に六年一月一日より漢陽製鐵所の外製品の輸出移出稅及萍鄉コークスの輸出稅を免除延期の旨を財政部に出願し其許可を得たれば此程に至り各稅關其他に就き其旨當局より通知する所ありたりと云ふ。

▲對獨工夫 中央政府は上海總公司に對し中獨國交斷絶に就き招聘中の獨逸人に對し保護を加へ一面危險を防禦せん爲め其行動を監視せよと命し亦駐萍贛西方鎮守使に對し鑛務局に雇獨逸人の名簿を作成せしめ拳銃其他の武器を取上げ其取締を嚴にせり。

▲技師會議 同公司の鑛務は元獨逸の創辦に係り爲めに現在使用の獨逸人少からず然るに歐洲戰亂後辭職歸國するもの多く今回亦退社者多く爲めに技師其他に缺員を生し尙退社するものあるを以て黃技師長は重要人物を召集し會議の結果左の如く定めたり。

一、獨逸人にして現在在職のものは當分其儘執務すること。

二、政府の命令に服従すること。

三、鑛務局は其保護の責を負ふ事。

四、強いて境を出て歸國せんとするものは須く總公司と政府の命令を得て行動を取るべし。

右の如く獨逸人に宣言書を與へたりと言ふ。

●葉家冲鐵鑛近況

省城の北門外家冲の鐵鑛は中日實業公司の手にて採掘することとなりたるを同省人にして在京中の姜筠等は省長に對し同鑛採掘の事を禁し尙懷寧縣會には委員を派し運動するとの電報を發したるに懷寧縣より未だ何等の回答なく亦財政廳は專任委員鄭嶼及技師虞和寅を派し同縣知事と立會事實の調査を爲さしめたるも之亦回答なき爲め奔走せる中日實業公司側に於ては既に各技師員を派し種々計劃中にして中央政府最早同地を開放し地方官廳に夫々通牒を發したれば省長も今は之れか反對をなす能はされは近く着手の運に至る可しと云ふ。

●桃冲鐵山近況

位置及沿革

△桃中鐵山は安徽省蕪湖より揚子江を溯ること約九十支里荻港の東南十五支里の處に在る長龍山を云ふ、長龍山は西平頂大山頭小山頭及金石墩等の連峯を以て一山を成し江岸より三百五十米突の標高を有す同鐵山は今より八九年前蕪湖の商賈に依り發見せられ約三萬元の資金を以て裕繁公司を組織し製鐵事業を經營せしか其結果不良にして中止せり、其原因は僅少なる資金にて全く經驗なき支那人に依り計劃せられたるに依る者なり後ち三井洋行を経て中日實業公司との間に借款契約成立し今後四十ヶ年間出鑛全部を引受くるとなれり。民國五年三月增區許可を得て鑛區權確定し同六月末に至り地表深鑛と坑道探鑛の一部を終り略ぼ將來に對する豫想を透見するに足るものあり、茲に開鑛を開始するに到りし者なり、而して尙鑛床調査の歩を進むると共に愈々實際に經營に着手したるは同九月なりとす、現今同鑛山には工學士増田達氏外六名の日本技術者ありて探鑛及探掘準備作業を起すと共に荻港に到る運鑛線路の實測を行ひ軌幅三呎六吋延長五哩十五鎖の鐵道を布設すべく計畫せられたるも安徽省督軍は省議會反對の理由を以て該鐵道の許可を與へず荏苒今日に及び既に到着せる鐵道諸材料は空しく荻港岸の雨露に委せらる。

△鑛床及鑛量 鑛床一般地は石灰岩粘板岩の累層にして粘板岩中には硅石を介在す鑛床は石灰岩に近き上部粘板岩中

に存する稍々大なる柘榴岩中不規則なる形を成して存在し延長千七百尺幅百尺乃至二百尺の區域内に散在す之れを鑛床の主要部分とす鑛質の大部分は赤鐵鑛にして時に磁鐵鑛の存在せるを見る鐵鑛は結晶質にして分析の結果は不明なるも大治に優るとも劣る事なき最良富鑛にして現在の調査に基く安全鑛量は五千萬噸と稱せらる出鑛は東洋製鐵會社と買鑛豫約を締結し同製鐵所竣成迄の間は他に賣却する成案を有し着々準備工事を進行せり。

△開鑛計畫の一般と現況 同鑛開鑛計畫は賣鑛關係上最初年額七萬噸を供給する事とし漸次出鑛量を増加し年額三十萬噸迄の規模とすべく企圖せられたるも大傾斜道と積込場設備とは當初より三十萬噸を標準とするの有利なるを認め變更せられたるか如し、坑道探鑛は從來より繼續する者と新に掘進を開始するものとあるも四個の水平坑道を開鑿し地下鑛床の状態を確むるを目的とし既に第一坑を除きたる他坑は何れも其目的を達して終了せり、地表探鑛は併せて探鑛準備を兼ねるものにして鑛床露頭を繞りて帶狀に水平鐵路を布設し表土及柘榴石に覆はれたる地下鑛床を掘り露はすものにして金石墩に上下二階段小山頭に五階段大山頭に九階段の探鑛場を設く各階段の高さ二十乃至三十尺幅八尺乃至三十尺普通十五尺に切り取り該表土及岩石は豫め定められたる將來妨害とならざる堆土場に搬棄し鑛床露出に到りて止むものとす既に小山頭の頂嶺に位するものは殆ど

鑛床の露出せるを見る土捨には十二封度軌條を布設し延長五千六百餘尺に達し半噸土車百輛を備ふ、鑛石卸は大山頭小山頭に於ける鑛石を全山の中腹迄降下する目的を以て設計せられ高差二百八十尺傾斜三十一度を有する大溝渠を切開き其下底に貯鑛場を有するものにして左右一對を設け交互に鑛石を卸し中段運搬装置により大傾斜道に聯絡せしむるものなり、現在工程は未だ其形體を備ふるに至らず大傾斜道は前記鑛石卸を降下したるもの及金石墩に於ける採掘鑛石を山麓本鐵道停車場上の積込場に送るものにして高差五百二十八尺傾斜上部十三尺下部十度延長二千五百尺築堤上幅四十二尺を有し目下土工の大部分を終れり、此部分の運搬装置は巡環式綱索を用ゆるか或は端索車架式を用ゆるか未定なるか最初は後者を装するの計畫なりしか如く一時間運鑛量四十八噸の復線として倍加せしむるの設備は傾斜道下に於て水平線より延長四十二尺の棧橋五個を設け貯鑛場に落し貯鑛場は白勝傾斜を利用し運鑛車中に掻き下すへき装置となすものにして備に豫備工事として溝渠變更作業を行ふに過ぎず、未だ本工事着手に至らず要するに現在計畫は本鐵道線路上高差約五百七十尺の長龍山の半腹以上を採掘する目的として企圖せられたるものにして大山頭小山頭の現採鑛地は直に悉く採掘場となり金石墩は上部一階段は中段運搬装置に據り下部一階段は傾斜道に直接連絡せしむる装置なりとす、本鑛に於ける作業は總て請負にして現

今稼働者四百餘人を有し諸器具火藥等自辨なり。

各工事中採取せる鑛石は一方に付五十仙以上一元を給する事とし適當地域に於て一方破碎賃七十仙を給して處理し蒐集せらる之等堆積鑛量二萬餘噸に達せり、以上記述せる如く目下元山に於ける作業は着々進行中にあると雖も運鑛鐵道に依り一頓挫を來し諸般設備の完成亦豫期し難き状態にあるも早晚之れか解決の方法講せらるへきは必然にして本鑛石の搬出を見るに至らは本邦製鐵事業界に貢獻すること鮮少なからざるを信す、特に大冶鐵山の將來樂觀を許さざるものあるに對し此一大優良富鑛を得たるは國家の爲め慶賀に堪へざる處なり、冀くは當路者の盡力に依り運鑛鐵道の開通と共に荻港碼頭に日章旗を掲けたる大汽船の碇泊するに至り交通の利便を開く一日も速ならん事を。

●米國の造船熱

米國の造船熱は其參戰に依つて益々昂騰し、苟くも造船材料として使用し得へき鐵材全部を徵發せんとし、若しくは之が輸出禁止を遂行せん等、種々の畫策を弄して、其目的を貫徹せん摸樣あり、勢ひ米國鐵物市場は益々緊張し、到底我邦の買附けを許さざる者あり、殊に各製鐵業者の觀測は、更に前途を囑望し居る模様にて最近某所着電に依れば、一般製鐵業者は戰後世界鐵類の需用は、戰亂に依る喪失又は缺陷を補充する爲め、殆ど奪ひ合ひの状態を呈すべく、此の際其供給の多寡は、直に國力の伸張に關係する所大なるを以て製鐵業者は今日に於て充

分準備するを要すとし、早くも明後年製品の注文を發し居れりと云ふ。

●米國鐵材近況

米國に於ける鐵材相場は依然騰貴の形勢にして殊に過般米國政府か鋼鐵三十萬噸以上注文せりとの報ありてよりは一層其勢ひを高め賣方なき有様となるるか最近各種鐵材の相場は左の如しと。

▲鋼板(ロイド證明付) 本年受渡の購買は目下不可能なるも來年上半期受渡にて一二の製造會社は注文に應し得へく價格は一封度八、五仙乃至十仙なり。

▲タンク板 注文引受後四箇月乃至六箇月後の受渡にて僅少數量に對し注文に應し得へき値段は工場渡し一封度六五仙乃至七仙なり但し大多數の諸製造會社は注文十分引受け居れるを以て目下の所賣手多からず。

▲鋼棒及造船用鋼型物 納期價格の條件如何に拘はらず新規注文に應して製造すること不可能の狀にあり市中商人の思惑に依る多量の鋼棒賣出され居るも低廉なる舊契約品として適當の納期を定め難きのみならず相場も區々なりと。

▲亞鉛引鐵板 在荷少く殊に厚物繁忙の爲め産額も減退し僅に確定的の問合に對し値段を出すに過ぎず。

▲百七封度鐵力板 基礎値段は工場渡し一箱八弗五十仙乃至十弗納期は本年下半年期にて相當出來すへし。

▲ベッセマー及オープンハース鋼 多數の製造會社は注文幅

湊の爲め市場取引を斷ち居るも厚物は少量購買するを得へく相場は各社により大なる相違あり

而して合衆國政府に於ける購入値段は製造會社との特別協定により鋼板は工場渡し百封度二弗九十仙鋼棒及建築用シエープは工場渡し百封度二弗五十仙即ち通常輸出品並に地方渡しのものに比し半額乃至三分の一に當るといふ因に紐育よりの運賃は一噸三十弗太平洋岸は一噸(二千封度)十七弗乃至十八弗オーバーランドによる輸送は最近多量の貨物に對し契約成立せし由なれば更に運賃暴騰すへき豫想なりと。

●造船用鐵材在高

最近遞信省管船局か各造船所に就きて造船鐵材の所有高を調査したるに約定品にて未到着の分約三十二萬噸現在手許所有高約十萬噸合計四十二萬千餘噸にして之を種類別に示せば

プレート	二八八、〇〇〇噸
形鋼	一二四、〇〇〇
ボイラープレート	五、二〇〇
鋼棒	四、二〇〇
合計	四二一、四〇〇

なるか各造船所中最も多量に材料を所有し居るは勿論造船豫定數の多き大阪鐵工所及川崎造船所の二ヶ所にして孰れも約十四五萬噸位宛を所有し居れり而して之に對する造船豫定數は既に遞信省の造船認許證を有するもの百十一隻五

十四萬四千五百八十噸目下出願中のもの七十九隻四十四萬千七百三十七噸合計百九十隻九十七萬六千三百三十七噸に上り之を各造船所に示せば左の如し。

認許證を有するもの		出願中のもの	
船名	噸	船名	噸
川崎造船	二〇	舞鶴	五〇
大阪鐵工	三八	久保	四八
三菱造船	一一	柵原	四七
浦賀船渠	一六	室立	四六
淺野造船	六	日立	四四
藤永田造船	六	大瀨	四三
松尾鐵工	二		
小野鐵工	四		
石川島造船	六		
播摩造船	一		
原田造船	一		

尙米國に於ける鐵材賣物はブローカー等の持ち廻り居るもの相當にある模様なれとも之等は多く銀行の保證なきと餘りに高値なる等の關係上昨今新規契約を爲すもの殆ど皆無の姿なりと。

●硫化鐵礦

近く兩丹地方に於て硫化鐵礦の良礦區發見せられしものゝ如くなるか硫化鐵礦は千八百三十六年頃より硫黃に代りて硫酸製造原料として歡迎さるゝに至りたるものにして幸ひ我國には頗る豊富にして品質亦佳良なるを以て硫酸製造業者にとりては勞力低廉と相俟つて非常なる慶幸と云はざる可からず而して硫化鐵礦は含硫量四十バ

ーセント以下に在りては自燃力弱く特別の焙燒方法を用ひざる可からざるを以て通常之れ以上のパーセントの物にあらされは使用せられざる傾きあり大日本人造肥料等の使用する硫化鐵礦のパーセントは

舞鶴	久保	柵原	室立	日立	大瀨
五〇%	四八	四七	四六	四四	四三
忠城	久保	諏訪	中西	飯盛	伊豫
四九%	四八	四六	四六	四四	四一

右の如く硫酸製造には通常四十パーセント以上のもの使用せられつゝありと雖も含硫量比較的少なく銅分の含有量多きものに至りては副業として製銅上の利益多き爲め硫酸製造家は寧ろ含銅量多きものを歡迎する傾きあり昨年末より本年一二月の頃迄に硫化鐵礦の發見せられたるものも亦尠からずといふ。

●鞍山站製鐵所

鞍山站鐵礦の採掘精煉に關し鞍山站を開鑛地とし立山を製鐵所とし湯崗子を高級従業員の舍宅地とし南北十三哩に亘る三驛間に於て現在の曠野を五年の後には人口四萬の大連を遙に凌ぎ滿洲第一の繁榮地東洋第一の製鐵所とする滿鐵の前觸に滿洲各地遠くは内地の人氣翕然集つてこゝに歸し市街豫定地として氣早のものは驟に土地買収に滿鐵の先きを廻りその爲め突飛に地價を吊り

上げ遂に滿鐵は一般に思ひも寄らぬ立山驛の南方約三哩なる張家舗附近に市街地二百萬坪を買収し立山附近の土地買収者は何れも呆氣に取られ萬金一失の大恐慌を來たせり。

●製鐵工場用地として是れ亦立山驛の南に滿鐵の買収したるもの約百六十萬坪外に二百餘萬坪の宿舍用地あり目下是等はすべて製鐵準備係の所管なるも既に市街地も決したれば滿鐵沿線の一般附屬地と同様地方課の所管に移し市街地計畫の成るを待ち地方課に於てその設備に着手する段取るか工場地と市街地とを分管すべき論議もありて獨立地方事務所を置く迄には尙ほ多少の時日を要すへし。

●工場設立準備として三月以來立山附屬地内に假設中なりし宿舍、事務所、倉庫等は既に竣工し立山工事係及鞍山製鐵準備係の假事務所はこゝに引越し郵便局警察署病院等の假工事も遠からず着手することとなり尙ほ工場豫定地の地均工事も竣り本月二十二日地鎮祭を執行したるか熔鑛爐及び骸炭工場の事務所も既に建築の運びとなりて同事務所は煉瓦建永久の事務所として製鐵工場の一部となす筈なり本年中に於ける建物工事は一先づ之れを以て一段落とし尙ほ六月下旬より着手すへき市街地計畫熔鑛爐組立工事の進行するに従ひ或は下級職員宿舍として煉瓦建三層樓を建築すべく其の材料も現に取寄せつゝあるか大約一千名を收容するに足る程の規模なりと。

●滿鐵經營の製鐵工場設立準備の進行すると共に鐵鑛探掘

に關しては鞍山鐵鑛振興公司に於て目下鑛脈の調査試掘に着手し本年夏秋の交には探掘開始の運びに至るへき模様なり此の振興公司是日支合辦の組織にして探鑛の曉には本部を奉天城内に置き探鑛總局を鞍山站到置き將來は鞍山站探鑛のみならず廣く滿洲各地の石炭其の他の鑛物探掘をも經營すべく當事者間に議せられつゝあり然るに滿鐵の製鐵所と日支合辦の振興公司とは表面獨立し振興公司の探掘せる鐵鑛を製鐵所か引受ける形式なれと裏面の關係は殆んど同心一體の姿にて該公司の職員は支那人は別として日本人は滿鐵職員或は滿鐵聲掛かりの者を採り未だ發表せされと目下技師長には撫順より平井氏を呼び其以下は滿鐵鑛業部鑛務課員總掛にて測量試掘其他探鑛準備作業に従事し地質鑑定の爲木戸地質研究所長試掘の指圖を擔任し居り滿鐵の製鐵工場が整成して原鑛を要する段となれば該公司の總辦以下職員の發表を見るへきは勿論なり。

●製鐵當事者は支那側の感情を顧慮し兎角多言を慎み甚しく内容の發表を怕れ従つて詳細に亘る計畫の如何は之れを知るに由なし只た第一期計畫に屬する本年四月より明年三月迄の期間に八百萬圓を投し熔鑛爐二臺を据付け銑鐵八萬噸を精煉する前記工場の設備構内鐵道線路の敷設水源地の設置従業員宿舍及市街地の施設は既定の事實なり要するに當事者か餘りに緘口沈黙なる爲却て支那側は蜚語流言に惑へる傾きなきにあらず暗かりの泥棒仕事と異り事業の正々

堂々たる事は何人も認むる所なれば寧ろ公表すべきにあらずや。

●支那の産鐵量は世界無比約六億噸と稱せられ湖北大冶の磁鐵褐鐵礦二億噸安徽桃冲山の赤鐵礦五千萬噸山東金嶺鎮の一億噸滿洲本谿湖の磁鐵礦八千萬噸鞍山站の一億八千萬噸を産し此の外未開掘のものは更に多き見當なるか鞍山站の鐵礦は最初前記の一億八千萬噸として含鐵量三〇%より四五%の豫想なりしも滿鐵が製鐵所開設に決定し各方面を試掘したる結果その鐵量の豊富なること更に一億噸増加すへきを發見し含鐵量も東西鞍山站並に大孤山方面のものは四五%乃至六〇%以上ある見込にて假りに年額百萬噸以上の銑鐵を出す大製鐵所を設置するとしても尙優に六十乃至百年以上の採掘量ありと。(滿洲通信)

●北海製鐵狀況

北海道製鐵會社は本年二月北海道炭礦汽船會社の製鐵部を分離獨立せしめ資本金三百萬圓を以て三井と共同の株式會社となしたるものなるか當時輪西の工場には五十噸の熔鐵爐一臺を有するに過ぎざりしを同社成立と共に百噸鎔鐵爐二臺増設に決し其中一臺は既に据付工事竣成して既に作業を開始したるか後の一臺は目下専ら諸材料蒐集中にて近々基礎工事に着手する豫定となり居れるか時局柄完成は早くも來年五六月となるへしとのことなり尙又今期營業成績も鐵價昂騰の好影響を受け創立最初の決算なるに拘はらず相當の収益を挙げ相應の株式配當を

爲し得へしと云ふ。

●東洋製鋼事業開始

東洋製鋼會社出雲今市町電氣精煉工場は本月十日完成の豫定なりしに八日完成の旨報告あり大阪鍛延部工場は府下稗島に目下工事中なるか基礎工事に時日を要するを以て七月下旬ならては完成せざる由なるも製品は工場完成と同時に賣出し得可しとなり因に同社第一回總會は本月二十五日午前大阪商業會議所に開催設立後(二十八日間)の決算報告をなす由。

●大阪製鋼鶴見工場

大阪市外豊崎本庄なる株式會社大阪製鋼所にては業務擴張に伴ひ關東方面主として横須賀工廠、淺野、石川島各造船所へ用品供給の必要上此程神奈川縣下鶴見へ分工場を設置し去月十五日より作業を開始せりと。

●東海鋼業起業

曩に資本金三百萬圓(四分の一)拂込を以て製鐵及販賣を目的とし創立せる東海鋼業會社は起業に要する諸器械の注文製作に窮し頓挫なりしか幸ひ製鋼所當局の盡力により一月以降四月迄に電氣機械は芝浦、奥村兩製作所に器械類は石川島、大倉及製鐵所に注文を了し八月中に全部完成すべく一方工場敷設地は福岡縣若松市内築港埋立地四萬坪を下する事に決定し之又工事に着手し八月中に工場建築を完成し直ちに諸機械を据付け十月中旬より愈々就業し我國に於ては製鐵所以外に製出し得ざる鐵板を一箇月三千噸產出すべく既に三井大倉其他各造船所よ

り注文ありて之を豫約せる有様也從つて十二月の決算後は直ちに第二回拂込をなし次て本年内に全部拂込をなし製産能力を増進する豫定にて同社事務岡崎氏は工場建築視察に向ふへし。

●帝國製鋼計畫

管納德三氏は元日本製鋼所技師長高橋利治氏の發明に係る專賣特許コンバター式製鋼法を基礎として資本金五百萬圓の帝國製鋼會社設立計畫中にて目下發起人の物色中なりと。

●久原製鋼所準備

久原鋼業の計畫に係る戸畑製鋼所は其後創立事務大に進捗し陸上にてはボーリングを下して地質の調査を續けつゝあると同時に建設工場割當の製圖をなし本年八、九月頃より事務所の建築に着手する由なり而して海上方面は小倉築港に關し同方面に於ける海底並に潮流の觀測を爲し居たるか本月初より一時之を中止し名古屋岬を中心とし其外面並に内面潮流の觀測を爲しつゝあり近々略々終了の上更に小倉方面の觀測に移る由。

●日支製鋼の設立

福岡縣若松安川敬一郎氏其他日支人數名の發起に係る日支合辦製鋼所は遠賀郡黑崎町に建設の豫定に付今回創立事務處理のため是迄小倉九州電氣軌道會社用地主任たりし工學士藤井靜夫氏入社當分の間創立事務所を安川松本商會内に設置し目下創業準備中と

●日東製鋼擴張

日東製鋼會社月島工場に増設中なりし六噸熔鑪一基は漸く竣工し目下瓦斯熱にて乾燥中な

るか六月上旬より之か操業を見るべく一ヶ月三百噸のインゴット(鋼塊)を鑄造し得へき見込なり又川崎新工場は既に建物の建設を終り三噸ハンマーも米國より到着し昨今据付中なれば七月頃より製品を出すに至るべく六噸ハンマーは桑港迄到着したる模様なれば多分八月頃より操業の運ひに至るへし而して右兩工場の増設費約四十萬圓は既に四月三十日迄に徴收せる増資八十萬圓の四分の一たる二十萬圓を以て一部分を支拂たるも擴張計畫の進捗に従ひ來る七月頃には更に第二回の拂込を爲さしむるへしと尙同社は鐵製品の一般的に騰貴せると製品の向上を圖りたる結果今期は前期に比し一噸三十圓方高値に賣捌かれ得たるか如く原料の騰貴にも拘らず今期利益金は優に三萬四五千圓(前期利益金一萬六千圓)には達すべく配當は前期に比し三分増加して一割五分なるへし。

●川崎造船所の板鐵製造

神戸川崎造船所分工場にて擴張中の製鐵工場は來七月までに二十五噸の熔鋼爐二基を竣成し在來の十五噸熔鋼爐二基と共に一日三百二十噸の鑄鋼作業をなし在來の棒鐵角鐵及アングルの外に擴張熔鋼爐にて鑄造する分は總て板鐵の製造をなす由にて板鐵製造のロールも既に到着目下据附中なり同會社の製鐵は本邦民間製鐵所中のロイド檢證附なるを以て擴張工事竣成後は製鐵の海外輸出をも試みる筈なりと云ふ。

●大阪鐵板増資

大阪鐵板製造會社にては先月二十

四日臨時總會を開き現在資本金百萬圓を倍額二百萬圓に増資するの件並に新株式二萬株中一萬六千株は舊五株に對し新四株の割にて割當て殘株四千株は會社功勞者に配與するの件を附議可決したり因に新株第一回拂込は來る六月八日一株に付二十五圓宛徵收する由。

●日本鋼管總會 日本鋼管株式會社にては十八日午後一時より日本橋俱樂部に定時株主總會を開き白石氏議長席に着き左記利益金處分案を附議可決し同二時散會せり。

利益處分案

當期純益金	九一八、五五〇、七一二
前期繰越金	七四、八四九、七五二
合計	九九三、四〇〇、一六四
内	

法定準備積立金	五〇、〇〇〇、〇〇〇
配當準備積立金	二〇〇、〇〇〇、〇〇〇
役員賞與金	八〇、〇〇〇、〇〇〇
株主配當金	一三七、五〇〇、〇〇〇
一株舊二圓五十錢新六十二錢五厘年一割	
株主特別配當金	二七五、〇〇〇、〇〇〇
一株舊五圓新一圓二十五錢年二割	
後期繰越金	二五〇、九〇〇、四六四

●日本鑄鋼配當 日本鑄鋼所にては來二十七日大阪

市西區千島町本社に於て第二回定時株主總會を開き左の利益金處分案を附議する等なるか之を前期と比較せは左の如し(單位圓)

	今 期	前 期
當期利益金	八一、八〇〇	八一、四〇四
前期繰越金	四四、一五四	—
合計	一二五、九五四	八一、四〇四
此處分方法		
法定積立金	五、〇〇〇	一〇、〇〇〇
別途積立金	三〇、〇〇〇	—
株主配當金 (三割五分)	四三、七五〇 (三割五分強)	二七、二五〇
後期繰越金	四七、二〇四	四四、一五四

●製鐵所製品賣出

八幡製鐵所は二十五日附を以て鐵板四十圓高の三百圓鋼鐵三十圓高の二百三十圓アングルジョイスト、チャンネルス等の型物四十五萬圓高の二百四十五圓を以て賣出すに決定發表せり。